



クルマ社会 あなたは どうお考えですか

調査期間: 2022年9月~11月

ま え が き

現在、自動車を取り巻く環境は、脱炭素社会実現に向けた次世代自動車の普及促進をはじめ、AI、IoT、IoEなどの最先端技術の導入、新しいモビリティサービスの推進等、移動手段としての自動車の存在と価値は、まさに大変革の只中にあります。

このような環境の中、県下自動車ディーラー28社で構成する私たち長野県自動車販売店協会は、自動車販売を通じて地域社会への貢献を目指し、交通安全活動や環境保全活動にも積極的に取り組んでいるところです。地域社会のニーズに則した自動車の販売、サービスの提供や協会の諸活動を、効果的に進める上での“より良い方向付け”を行うことを目的とした、県内自動車所有者1,000人を対象とする「自動車の購入・整備並びに交通安全・環境問題等に関するアンケート調査」を実施いたしました。通算31回目となる本調査も、お寄せいただいた貴重なご意見・ご要望を資料として纏めましたので、ご参考となれば幸甚と存じます。

なお、アンケートにつきましては自動車販売店にご来店されたユーザーの皆様にご協力いただく方法で、調査を実施致しました。

終わりに、貴重なご意見をお寄せいただいた皆様と、調査活動にご協力いただきました方々に対し、心から御礼を申し上げます。

2023年2月

一般社団法人 長野県自動車販売店協会

目 次

Q1	性別・年齢・職業について。 ……………	1ページ
Q2	現在所有している自動車は、どのタイプですか。 ……………	2ページ
Q3	現在所有している自動車は、何年使用していますか。 ……………	2ページ
Q4	自動車の利用目的は何ですか。 ……………	3ページ
Q5	自動車の諸経費について、負担に感じるものはどれですか。 ……………	4ページ
Q6	自動車を購入する際、重視するポイントは何ですか。 ……………	5ページ
Q7	自動車を購入する際、どちらから情報を入手しますか。 ……………	6ページ
Q8	自動車を購入または買い替える時期はいつですか。 ……………	6ページ
Q9-1	現在使用している自動車の点検頻度はどのくらいですか。 ……………	7ページ
Q9-2	点検（車検）を予約する際、どのような方法で行っていますか。 ……………	7ページ
Q10-1	安全運転サポート車（サポカー）をご存知ですか。 ……………	8ページ
Q10-2	2022年5月から【安全運転サポート車限定条件付免許（サポカー限定免許）】が導入 されましたが、今後切り替えたいまたは高齢のご家族等に勧めたいと考えていますか。…	8ページ
Q10-3	付いていると良いと思う運転支援機能を教えてください。 ……………	9ページ
Q11	車の防犯対策について、日頃どのような事を行っておりますか。 ……………	9ページ
	【ユーザーの皆様からお寄せいただいたご意見・ご要望】 ……………	10ページ

【登場キャラクターの紹介】

ミドリちゃん



分析・検証は
私に任せてね！

私が年別対比と傾向
を調べてみよう！



博士さん

資料をご覧ください上での注意点

- ・ 比率は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・ 設問の終わりに『複数回答可』とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を選択してよい回答である為、比率の合計は100%を超える場合があります。(回答者数を分母として計算)

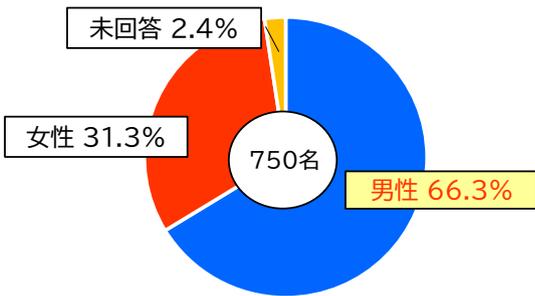


Q1: 性別・年齢・職業について

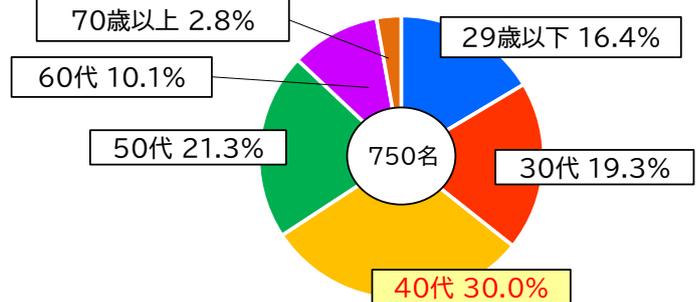
① 性別/年齢 集計表

回答項目	年代	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
		回答数	%	回答数	%										
男性		67	54.5%	100	69.0%	152	67.6%	115	71.9%	48	63.2%	15	71.4%	497	66.3%
女性		50	40.7%	38	26.2%	71	31.6%	42	26.3%	28	36.8%	6	28.6%	235	31.3%
未回答		6	4.9%	7	4.8%	2	0.9%	3	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	18	2.4%
合計		123		145		225		160		76		21		750	
参考:構成比		16.4%		19.3%		30.0%		21.3%		10.1%		2.8%			

性別構成比



年代別構成比



② 職業/年齢 集計表

回答項目	年代	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
会社員		110	89.4%	118	81.4%	174	77.3%	116	72.5%	25	32.9%	1	4.8%	544	72.5%
団体職員		2	1.6%	0	0.0%	4	1.8%	2	1.3%	4	5.3%	0	0.0%	12	1.6%
公務員		6	4.9%	8	5.5%	12	5.3%	14	8.8%	5	6.6%	0	0.0%	45	6.0%
自営業		0	0.0%	5	3.4%	6	2.7%	9	5.6%	10	13.2%	4	19.0%	34	4.5%
アルバイト(パート)		2	1.6%	9	6.2%	24	10.7%	9	5.6%	12	15.8%	1	4.8%	57	7.6%
専業主婦(主夫)		1	0.8%	3	2.1%	2	0.9%	4	2.5%	6	7.9%	1	4.8%	17	2.3%
学生		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無職		2	1.6%	2	1.4%	0	0.0%	4	2.5%	10	13.2%	14	66.7%	32	4.3%
その他		0	0.0%	0	0.0%	3	1.3%	2	1.3%	4	5.3%	0	0.0%	9	1.2%
年代別回答者数		123		145		225		160		76		21		750	

参考:年別対比(過去3年間)

実施年度	2020年度	2021年度	2022年度
回答総数	583名	605名(+22名)	750名(+145名)
回答総数 前年比	143.6%	103.8%	124.0%



① 全体では…

今年度は、昨年度実施分から145名増の**750名**の方にご回答をいただきました。

② 年代別構成比では…

例年同様、**40代**の方からのご回答が**30.0%**と最も高く、次いで50代の方からのご回答で**21.3%**の回答率となりました。

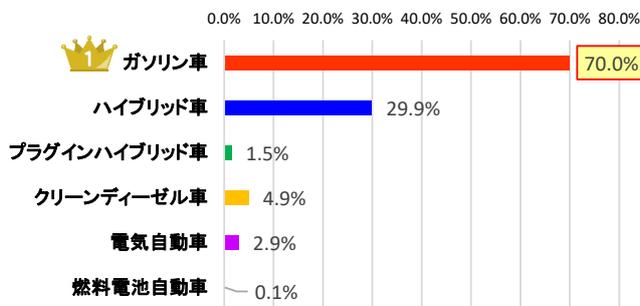
年々、回答者数が増えております。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



Q2: 現在所有している自動車は、どのタイプですか。(複数回答可)

回答項目	年代	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
		1位		2位		3位									
ガソリン車		94	76.4%	100	69.0%	156	69.3%	110	68.8%	49	64.5%	16	76.2%	525	70.0%
ハイブリッド車		30	24.4%	50	34.5%	63	28.0%	45	28.1%	28	36.8%	8	38.1%	224	29.9%
プラグインハイブリッド車		0	0.0%	0	0.0%	6	2.7%	4	2.5%	1	1.3%	0	0.0%	11	1.5%
クリーンディーゼル車		4	3.3%	7	4.8%	12	5.3%	11	6.9%	3	3.9%	0	0.0%	37	4.9%
電気自動車		2	1.6%	3	2.1%	8	3.6%	3	1.9%	5	6.6%	1	4.8%	22	2.9%
燃料電池自動車		0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
年代別回答者数		123		145		225		160		76		21		750	

現在所有している自動車は、どのタイプですか



① 全体では…

現時点では、「ガソリン車」を所有している方が**70.0%**という結果でした。次いで、「ハイブリッド車」で**29.9%**で、その他の次世代自動車を所有している割合は全ての車種を合算して**9.5%**となりました。(昨年調査より**1.7%**増)



② 年代別では…

年代別で比較しても、全ての年代で「ガソリン車」が1番となり、次いで「ハイブリッド車」の所有が多い結果となりました。

Q3: 現在所有している自動車は、何年使用していますか。

回答項目	年代	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
		1位		2位		3位									
3年未満		82	66.7%	57	39.3%	95	42.2%	61	38.1%	29	38.2%	6	28.6%	330	44.0%
3～5年		24	19.5%	36	24.8%	55	24.4%	36	22.5%	21	27.6%	1	4.8%	173	23.1%
5～7年		8	6.5%	26	17.9%	27	12.0%	32	20.0%	11	14.5%	4	19.0%	108	14.4%
7～9年		4	3.3%	11	7.6%	22	9.8%	12	7.5%	6	7.9%	3	14.3%	58	7.7%
9～11年		0	0.0%	11	7.6%	11	4.9%	11	6.9%	6	7.9%	3	14.3%	42	5.6%
11年～13年		3	2.4%	1	0.7%	8	3.6%	7	4.4%	1	1.3%	0	0.0%	20	2.7%
13年以上		2	1.6%	3	2.1%	7	3.1%	1	0.6%	2	2.6%	4	19.0%	19	2.5%
年代別回答者数		123		145		225		160		76		21		750	

① 全体では…

「3年未満」が**44.0%**で一番高い結果となりました。次いで、「3年～5年」が**23.1%**となりました。

② 年代別では…

全世代で「3年以内」と答えた方が最も多く、特に29歳以下では、約7割近くの方が所有から「3年未満」の車を使用しているようですね。

残価型クレジットローンやサブスクリプション等、車の購入方法が多様化し、新しい車を所有し易い環境になっているのも回答に影響していると考えられます。



参考: 年別対比(過去3年間)

回答項目	2020年度		2021年度		2022年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
3年未満	218	37.4%	255	42.1%	330	44.0%
3～5年	115	19.7%	129	21.3%	173	23.1%
5～7年	78	13.4%	103	17.0%	108	14.4%
7～9年	71	12.2%	52	8.6%	58	7.7%
9～11年	45	7.7%	27	4.5%	42	5.6%
11年～13年	20	3.4%	14	2.3%	20	2.7%
13年以上	28	4.8%	23	3.8%	19	2.5%
回答者数合計	583		605		750	

1位 2位 3位



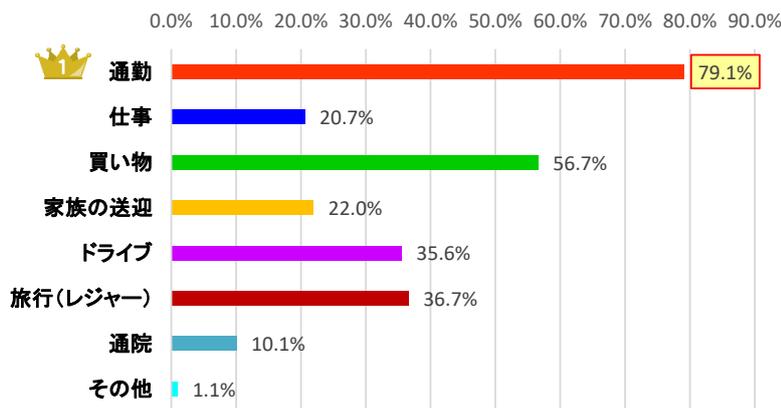
過去3年間の年別対比を見てみると…

11年以上(「11年～13年」、「13年以上」回答率の合算)長く乗り続けているユーザーは、2020年度は**8.2%**、2021年度は**6.1%**、2022年度は**5.2%**(合算値)となり、引き続き減少傾向にあるのがわかります。登録から13年を経過した車は、自動車諸税の税額が上がってしまうことも要因の一つかもしれません。

Q4: 自動車の利用目的は何ですか。(複数回答可)

回答項目	年代	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
		通勤	103	83.7%	125	86.2%	195	86.7%	123	76.9%	45	59.2%	2	9.5%	593
仕事	22	17.9%	43	29.7%	31	13.8%	41	25.6%	17	22.4%	1	4.8%	155	20.7%	
買い物	59	48.0%	83	57.2%	129	57.3%	85	53.1%	51	67.1%	18	85.7%	425	56.7%	
家族の送迎	6	4.9%	40	27.6%	67	29.8%	30	18.8%	18	23.7%	4	19.0%	165	22.0%	
ドライブ	42	34.1%	50	34.5%	86	38.2%	55	34.4%	31	40.8%	3	14.3%	267	35.6%	
旅行(レジャー)	42	34.1%	57	39.3%	84	37.3%	60	37.5%	28	36.8%	4	19.0%	275	36.7%	
通院	2	1.6%	16	11.0%	22	9.8%	15	9.4%	14	18.4%	7	33.3%	76	10.1%	
その他	0	0.0%	1	0.7%	2	0.9%	1	0.6%	3	3.9%	1	4.8%	8	1.1%	
年代別回答者数		123		145		225		160		76		21		750	

自動車の利用目的は何ですか



参考: 年別対比(過去2年間)

回答項目	2021年度		2022年度	
	回答数	%	回答数	%
通勤	473	78.2%	593	79.1%
仕事	147	24.3%	155	20.7%
買い物	343	56.7%	425	56.7%
家族の送迎	112	18.5%	165	22.0%
ドライブ	191	31.6%	267	35.6%
旅行(レジャー)	206	34.0%	275	36.7%
通院	65	10.7%	76	10.1%
その他	7	1.2%	8	1.1%
回答者数合計	605		750	

参考: 男女別集計

回答項目	性別	男性		女性		無回答		合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
通勤		392	78.9%	186	79.1%	15	83.3%	593	79.1%
仕事		106	21.3%	44	18.7%	5	27.8%	155	20.7%
買い物		244	49.1%	173	73.6%	8	44.4%	425	56.7%
家族の送迎		92	18.5%	71	30.2%	2	11.1%	165	22.0%
ドライブ		182	36.6%	82	34.9%	3	16.7%	267	35.6%
旅行(レジャー)		198	39.8%	74	31.5%	3	16.7%	275	36.7%
通院		37	7.4%	36	15.3%	3	16.7%	76	10.1%
その他		5	1.0%	3	1.3%	0	0.0%	8	1.1%
性別回答者数		497		235		18		750	

① 全体では…

約8割の方が、「通勤」で自動車を利用していることが分かりました。次いで「買い物」で利用すると答えた方が多く、長野県での日常生活に自動車は欠かせない存在であることが分かります。

② 年代別では…

29歳以下～50代では、「通勤」が最も多く、60代・70歳以上では、「買い物」で利用する方が多いことが分かりました。

また、すべての年代で「ドライブ」や「旅行(レジャー)」を目的とする割合が高く、自動車の運転を楽しむ傾向が見られます。

共に、昨年(2021年度)の結果と同じ傾向となっています。



男女別に結果を見てみると…

「通勤」の割合は、男女・無回答共に、8割程となりましたが、2番目に多かった「買い物」という目的に対しては、男性は49.1%、女性は73.6%という結果でした。

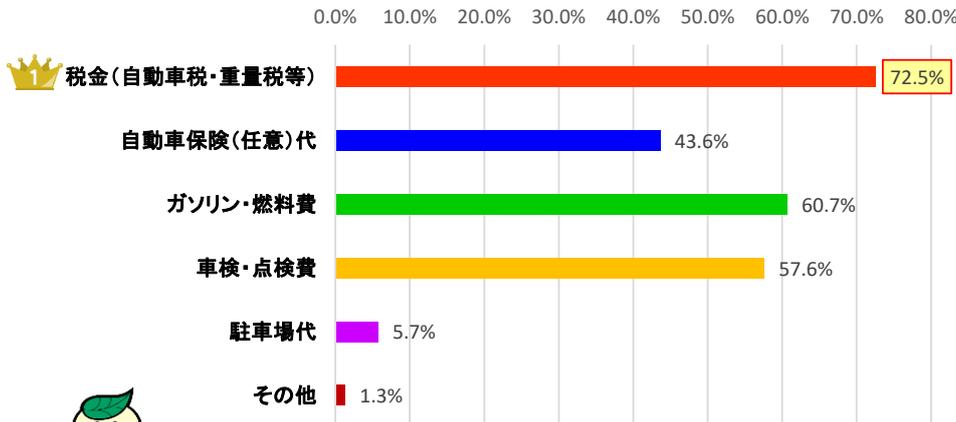
家庭内の役割が自動車の利用目的に反映されているのかもしれない。



Q5: 自動車の諸経費について、負担に感じるものはどれですか。(複数回答可)

回答項目	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
税金(自動車税・重量税等)	87	70.7%	112	77.2%	168	74.7%	115	71.9%	48	63.2%	14	66.7%	544	72.5%
自動車保険(任意)代	51	41.5%	55	37.9%	94	41.8%	79	49.4%	37	48.7%	11	52.4%	327	43.6%
ガソリン・燃料費	76	61.8%	96	66.2%	126	56.0%	100	62.5%	49	64.5%	8	38.1%	455	60.7%
車検・点検費	58	47.2%	85	58.6%	136	60.4%	98	61.3%	45	59.2%	10	47.6%	432	57.6%
駐車場代	10	8.1%	10	6.9%	9	4.0%	11	6.9%	3	3.9%	0	0.0%	43	5.7%
その他	2	1.6%	3	2.1%	4	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	10	1.3%
年代別回答者数	123		145		225		160		76		21		750	

自動車の諸経費について、負担に感じるものはどれですか



参考:「その他」の意見

- ・タイヤ代
- ・車両本体価格
- ・車の修理代
- ・洗車用洗剤や除湿剤等の自動車関連整備用品
- ・自動車に係わるもの全て 等



- ① 全体では…
 「税金(自動車税・重量税等)」が一番多い**72.5%**、次いで、「ガソリン・燃料費」が**60.7%**という結果となりました。
- ② 年代別では…
 29歳以下～50代、70歳以上で、「税金(自動車税・重量税等)」が一番多く選ばれていました。
 60代は、「ガソリン・燃料費」が僅差で一番多く選ばれました。

毎年、回答いただいたユーザーの皆さまから、「自動車税・重量税等」に関するご意見が一番多くいただいております。
 長野県においては自動車は必需品であるからこそ、少しでも負担軽減に繋がる仕組みを検討いただきたいものです。

長野県では、降雪がある為、ノーマルタイヤの他にスタッドレスタイヤも必要になりますよね。
 自動車本体の価格はもとより、その周りの備品費用にも負担を感じている方が多いようです。



自動車購入費
 (車両本体)
 その他登録手続き費用等

税金等

- 自動車税種別割
- 軽自動車税
- 自動車税環境性能割
- 自動車重量税

点検・整備にかかるもの

- 車検代
- 修理代
- 消耗品代

保険にかかるもの

- 自賠責保険
- 任意保険

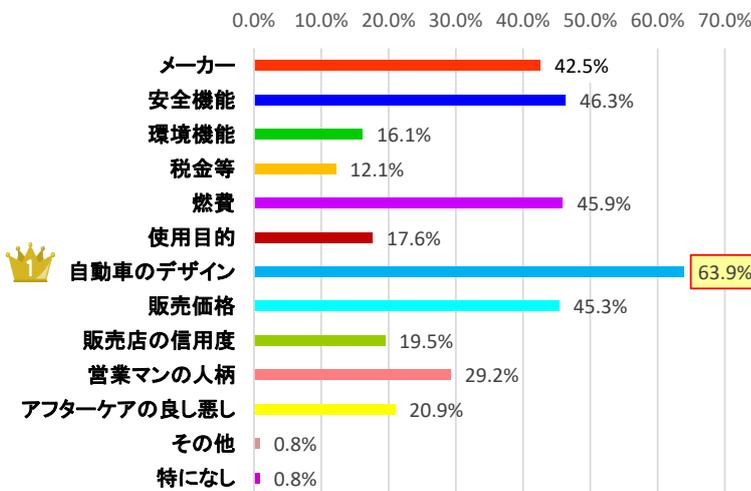
移動等にかかるもの

- ガソリン代
- 駐車場代
- 高速料金

Q6: 自動車を購入する際、重視するポイントは何ですか。(複数回答可)

回答項目	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
メーカー	43	35.0%	54	37.2%	100	44.4%	79	49.4%	36	47.4%	7	33.3%	319	42.5%
安全機能	57	46.3%	47	32.4%	97	43.1%	86	53.8%	47	61.8%	13	61.9%	347	46.3%
環境性能	12	9.8%	20	13.8%	33	14.7%	33	20.6%	20	26.3%	3	14.3%	121	16.1%
税金等	13	10.6%	20	13.8%	31	13.8%	17	10.6%	10	13.2%	0	0.0%	91	12.1%
燃費	48	39.0%	67	46.2%	108	48.0%	70	43.8%	44	57.9%	7	33.3%	344	45.9%
使用目的	22	17.9%	25	17.2%	44	19.6%	32	20.0%	7	9.2%	2	9.5%	132	17.6%
自動車のデザイン	93	75.6%	93	64.1%	154	68.4%	97	60.6%	38	50.0%	4	19.0%	479	63.9%
販売価格	49	39.8%	65	44.8%	108	48.0%	70	43.8%	40	52.6%	8	38.1%	340	45.3%
販売店の信用度	11	8.9%	21	14.5%	41	18.2%	39	24.4%	28	36.8%	6	28.6%	146	19.5%
営業マンの人柄	24	19.5%	38	26.2%	63	28.0%	47	29.4%	40	52.6%	7	33.3%	219	29.2%
アフターケアの良し悪し	17	13.8%	28	19.3%	53	23.6%	32	20.0%	22	28.9%	5	23.8%	157	20.9%
その他	1	0.8%	2	1.4%	0	0.0%	2	1.3%	1	1.3%	0	0.0%	6	0.8%
特になし	2	1.6%	3	2.1%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.8%
年代別回答者数	123		145		225		160		76		21		750	

自動車を購入する際、重視するポイントは何ですか。



参考: 年別対比(過去3年間)

回答項目	2020年度		2021年度		2022年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
メーカー	287	49.2%	279	46.1%	319	42.5%
安全機能	262	44.9%	234	38.7%	347	46.3%
環境性能	-	-	57	9.4%	121	16.1%
税金等	154	26.4%	145	24.0%	91	12.1%
燃費	228	39.1%	260	43.0%	344	45.9%
使用目的	175	30.0%	100	16.5%	132	17.6%
自動車のデザイン	324	55.6%	280	46.3%	479	63.9%
販売価格	300	51.5%	239	39.5%	340	45.3%
販売店の信用度	168	28.8%	133	22.0%	146	19.5%
営業マンの人柄	236	40.5%	181	29.9%	219	29.2%
アフターケア	151	25.9%	101	16.7%	157	20.9%
その他	5	0.9%	8	1.3%	6	0.8%
特になし	-	-	-	-	6	0.8%
回答総数	583		603		750	

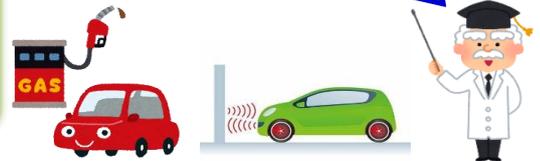
① 全体では…
「自動車のデザイン」が63.9%でトップでした！
次いで、「安全機能」「燃費」に関心が高いことが分かりました。



② 年代別では…
29歳以下～50代では、「自動車のデザイン」が最も多く、60代、70歳以上では、「安全機能」に関心が高いことが分かりました。

年代ごとに、自動車への関心や選ぶポイントに大きな違いがあるのが分かりますね。

「燃費」や「安全機能」が選ばれる背景には、昨今の燃油価格の高騰や、自動車に起因する交通死亡事故が多発していることも大きな要因ではないかと考えられます。



参考: 男女別集計

	男性	女性
1位	自動車のデザイン	自動車のデザイン
2位	メーカー	安全機能
3位	燃費	価格



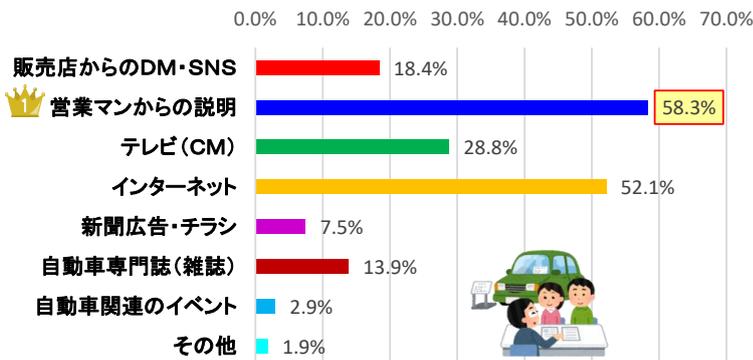
男女別に結果を見てみると…

「自動車のデザイン」が男女・無回答共に、一番多く選ばれていました。2番目に多かったものは、男性の方は「メーカー」、女性・無回答の方は「安全機能」となり、性別ごとに興味を持つポイントに違いがあることが分かりました。

Q7: 自動車を購入する際、どちらから情報を入手しますか。(複数回答可)

回答項目	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
販売店からのDM・SNS	15	12.2%	23	15.9%	39	17.3%	33	20.6%	24	31.6%	4	19.0%	138	18.4%
営業マンからの説明	52	42.3%	84	57.9%	128	56.9%	101	63.1%	55	72.4%	17	81.0%	437	58.3%
テレビ(CM)	44	35.8%	39	26.9%	67	29.8%	37	23.1%	25	32.9%	4	19.0%	216	28.8%
インターネット	74	60.2%	86	59.3%	122	54.2%	86	53.8%	21	27.6%	2	9.5%	391	52.1%
新聞広告・チラシ	6	4.9%	9	6.2%	16	7.1%	17	10.6%	5	6.6%	3	14.3%	56	7.5%
自動車専門誌(雑誌)	11	8.9%	17	11.7%	34	15.1%	31	19.4%	11	14.5%	0	0.0%	104	13.9%
自動車関連のイベント	7	5.7%	1	0.7%	5	2.2%	7	4.4%	2	2.6%	0	0.0%	22	2.9%
その他	4	3.3%	1	0.7%	4	1.8%	2	1.3%	2	2.6%	1	4.8%	14	1.9%
年代別回答者数	123		145		225		160		76		21		750	

自動車を購入する際、どちらから情報を入手しますか。



① 全体では…

「営業マンからの説明」が一番多**58.3%**、次いで、「インターネット」で**52.1%**という結果でした。

② 年代別では…

29歳以下と30代では、「インターネット」から情報を入手することが多く、40代以上は、「営業マンからの説明」で、情報を得るという方が多く、年代別で情報収集の方法が異なることが分かりました。

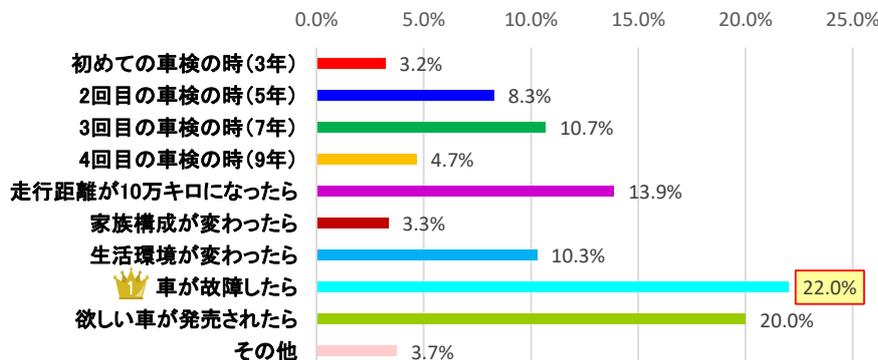
60代と70歳以上は、普段利用されている「販売店のDMやSNS」から情報を入手しているとの回答も多くありました。



Q8: 自動車を購入または買い替える時期はいつですか。(1つだけ選択)

回答項目	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
初めての車検の時(3年)	7	5.7%	5	3.4%	7	3.1%	4	2.5%	1	1.3%	0	0.0%	24	3.2%
2回目の車検の時(5年)	12	9.8%	13	9.0%	26	11.6%	8	5.0%	3	3.9%	0	0.0%	62	8.3%
3回目の車検の時(7年)	7	5.7%	17	11.7%	22	9.8%	19	11.9%	14	18.4%	1	4.8%	80	10.7%
4回目の車検の時(9年)	4	3.3%	4	2.8%	13	5.8%	5	3.1%	7	9.2%	2	9.5%	35	4.7%
走行距離が10万キロになったら	13	10.6%	19	13.1%	33	14.7%	28	17.5%	10	13.2%	1	4.8%	104	13.9%
家族構成が変わったら	3	2.4%	7	4.8%	5	2.2%	8	5.0%	1	1.3%	1	4.8%	25	3.3%
生活環境が変わったら	16	13.0%	8	5.5%	28	12.4%	12	7.5%	9	11.8%	4	19.0%	77	10.3%
車が故障したら	22	17.9%	36	24.8%	46	20.4%	37	23.1%	16	21.1%	8	38.1%	165	22.0%
欲しい車が発売されたら	33	26.8%	30	20.7%	40	17.8%	33	20.6%	11	14.5%	3	14.3%	150	20.0%
その他	6	4.9%	6	4.1%	5	2.2%	6	3.8%	4	5.3%	1	4.8%	28	3.7%
年代別回答者数	123		145		225		160		76		21		750	

自動車を購入または買い替える時期はいつですか。



参考:「その他」の意見

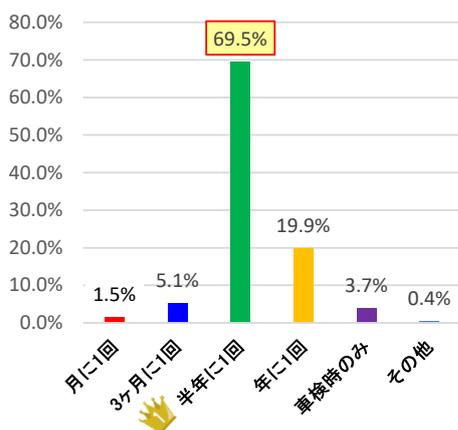
- ・良い条件で買替えができる時
- ・乗り換えしなくなったら
- ・特に決めていない
- ・気分次第
- ・勧められた時
- ・車の限界を迎えるまで
- ・乗り切ったら
- ・会社のルールに沿って(2年)
- ・修理費が圧倒的に高くなった場合に購入する 等



Q9-1: 現在使用している自動車の点検頻度はどのくらいですか。(1つだけ選択)

回答項目	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
月に1回	2	1.6%	5	3.4%	1	0.4%	2	1.3%	1	1.3%	0	0.0%	11	1.5%
3ヶ月に1回	10	8.1%	8	5.5%	7	3.1%	8	5.0%	5	6.6%	0	0.0%	38	5.1%
半年に1回	83	67.5%	97	66.9%	159	70.7%	114	71.3%	51	67.1%	17	81.0%	521	69.5%
年に1回	25	20.3%	30	20.7%	47	20.9%	29	18.1%	15	19.7%	3	14.3%	149	19.9%
車検時のみ	3	2.4%	5	3.4%	8	3.6%	7	4.4%	4	5.3%	1	4.8%	28	3.7%
その他	0	0.0%	0	0.0%	3	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%
年代別回答者数	123		145		225		160		76		21		750	

現在、使用している自動車の点検頻度はどのくらいですか。



① 全体では…

「半年に1回」が69.5%で最も高く、次いで、「年に1回」が19.9%でした。その他の項目は10%以下の回答率となりました。

② 年代別では…

年代別で見ても、全体と殆ど同じ結果となりました。大半の方が法定点検を実施されていることがわかりました。



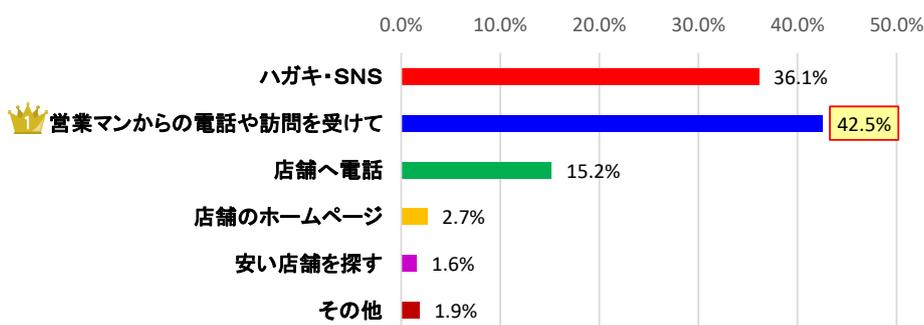
過去の調査でも、傾向はほぼ毎年同じ結果となっているようです。

引き続き「半年に1回」そして「年に1回」の法定点検を実施して、自動車を安全且つ快適に利用しましょう。

Q9-2: 点検(車検)を予約する際、どのような方法で行っていますか。(1つだけ選択)

回答項目	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
店舗から届いたハガキ・SNS等を確認して予約をする	50	40.7%	38	26.2%	95	42.2%	54	33.8%	31	40.8%	3	14.3%	271	36.1%
担当の営業マンから電話や訪問を受けたら予約をする	45	36.6%	71	49.0%	89	39.6%	67	41.9%	31	40.8%	16	76.2%	319	42.5%
時期が来たら、日頃利用する店舗へ電話をして予約をする	17	13.8%	26	17.9%	33	14.7%	29	18.1%	8	10.5%	1	4.8%	114	15.2%
時期が来たら、日頃利用する店舗のホームページから予約をする	4	3.3%	4	2.8%	2	0.9%	7	4.4%	3	3.9%	0	0.0%	20	2.7%
点検費用が安い店舗を探して予約をする	3	2.4%	4	2.8%	2	0.9%	2	1.3%	1	1.3%	0	0.0%	12	1.6%
その他	4	3.3%	2	1.4%	4	1.8%	1	0.6%	2	2.6%	1	4.8%	14	1.9%
年代別回答者数	123		145		225		160		76		21		750	

点検(車検)を予約する際、どのような方法で行っていますか。



参考:「その他」の意見

- ・LINEで予約。
- ・知り合いにお願いしている。
- ・自宅からの距離と口コミなどの評判で判断。
- ・家族に任せている。



全体では…

「担当の営業マンから電話や訪問を受けたら予約をする」が42.5%と最も高く、次いで「店舗から届いたハガキ・SNS等を確認して予約をする」が36.1%となりました。

ユーザー側からの予約よりも、店舗(営業マン)から連絡や案内を受けてから予約する傾向が多いことがわかりました。

Q10-1: 安全運転サポート車(サポカー)をご存知ですか。(1つだけ選択)

回答項目	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
知っている(所有している)	61	49.6%	74	51.0%	134	59.6%	84	52.5%	45	59.2%	9	42.9%	407	54.3%
知っている(所有していない)	29	23.6%	39	26.9%	53	23.6%	50	31.3%	23	30.3%	9	42.9%	203	27.1%
知らない	33	26.8%	32	22.1%	38	16.9%	26	16.3%	8	10.5%	3	14.3%	140	18.7%
年代別回答者数	123		145		225		160		76		21		750	

安全運転サポート車(サポカー)をご存知ですか。



全体では…

「知っている(所有している)」と回答された方が**54.3%**となり、全世代で一番多い回答となりました。サポカーの認知が広まっていることがわかります。

一方で、「知らない」と回答された方は**18.7%**となり、特に29歳以下では、約3割の方が「知らない」と答えられていました。



サポカーとは…?

政府は高齢運転者の交通事故防止対策の一環として、衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全技術でドライバーの安全運転を支援してくれる車「セーフティ・サポートカー(サポカー)」の普及啓発に官民連携で取り組んでいます。

サポカーについての詳細は、
経済産業省のサポカー特設ページ
<https://www.safety-support-car.go.jp>
に掲載されていますので、ぜひご覧ください!



「セーフティ・サポートカー(サポカー)」とは、衝突被害軽減ブレーキを搭載した、全ての運転者に推奨される自動車。



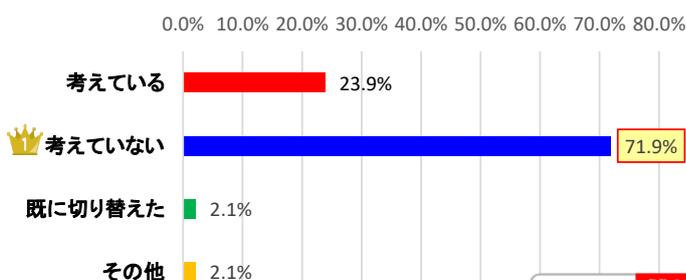
「セーフティ・サポートカーS(サポカーS)」とは、衝突被害軽減ブレーキに加え、ペダル踏み間違い急発進抑制装置等を搭載した、特に高齢運転者に推奨される自動車。



Q10-2: 2022年5月から【安全運転サポート車限定条件付免許(サポカー限定免許)】が導入されましたが、今後切り替えたい、または高齢のご家族等に勧めたいと考えていますか。(1つだけ選択)

回答項目	29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
考えている	28	22.8%	36	24.8%	55	24.4%	36	22.5%	19	25.0%	5	23.8%	179	23.9%
考えていない	92	74.8%	103	71.0%	162	72.0%	115	71.9%	53	69.7%	14	66.7%	539	71.9%
既に切り替えた	1	0.8%	4	2.8%	4	1.8%	4	2.5%	1	1.3%	2	9.5%	16	2.1%
その他	2	1.6%	2	1.4%	4	1.8%	5	3.1%	3	3.9%	0	0.0%	16	2.1%
年代別回答者数	123		145		225		160		76		21		750	

サポカー限定免許に切り替えたい・勧めたいと考えていますか。



全体では…

サポカー限定免許の切り替え・勧めを「**考えていない**」という回答が**71.9%**となりました。

本アンケートのその他の意見でも、「**免許制度のメリットが分からない**」、「**知らない**」、「**よくわからない**」という回答もあり、認知度も低いことがわかりました。



サポカー限定免許とは…?

2022年5月13日に創設された「運転することができる自動車の範囲をサポカーに限定する」条件が付いた新しい運転免許制度です。
年齢などの制限はなく、普通免許から運転者本人の申請によって移行できますが、解除するには限定解除審査が必要です。
特に70歳以上で「運転に不安があるものの、免許返納までは踏み切れない」といった運転者の利用が想定されています。



- サポカー限定免許取得のメリットとして、
- ①安全に車を運転し続けられる。
 - ②周囲の家族に安心してもらえる。
 - ③交通安全の取組みに貢献ができる。

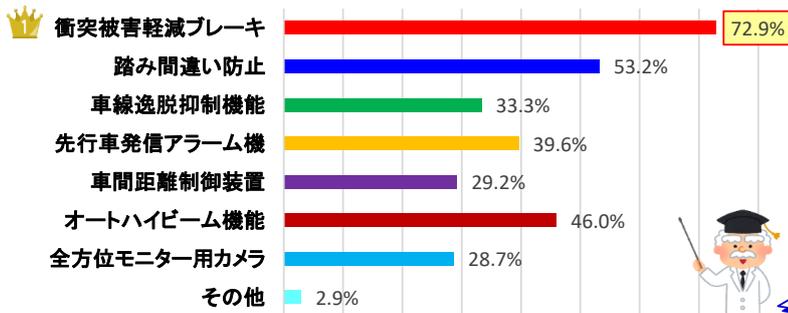
等が考えられます。
サポカー限定免許の取得を周囲に知らせることにより、友人や知人にも取得者が増え、更なる交通安全の意識向上に繋がります。



Q10-3: 付いていると良いと思う運転支援機能を教えてください。(複数回答可)

回答項目	年代		29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
衝突被害軽減ブレーキ	81	65.9%	99	68.3%	164	72.9%	128	80.0%	60	78.9%	15	71.4%	547	72.9%		
誤発進抑制機能(踏み間違い防止)	44	35.8%	73	50.3%	125	55.6%	89	55.6%	56	73.7%	12	57.1%	399	53.2%		
車線逸脱抑制機能	29	23.6%	50	34.5%	83	36.9%	62	38.8%	21	27.6%	5	23.8%	250	33.3%		
先行車発信アラーム機	29	23.6%	58	40.0%	102	45.3%	71	44.4%	32	42.1%	5	23.8%	297	39.6%		
車間距離制御装置	31	25.2%	51	35.2%	71	31.6%	46	28.8%	17	22.4%	3	14.3%	219	29.2%		
オートハイビーム機能	52	42.3%	70	48.3%	101	44.9%	71	44.4%	44	57.9%	7	33.3%	345	46.0%		
全方位モニター用カメラ	33	26.8%	38	26.2%	66	29.3%	48	30.0%	27	35.5%	3	14.3%	215	28.7%		
その他	2	1.6%	6	4.1%	7	3.1%	3	1.9%	1	1.3%	3	14.3%	22	2.9%		
年代別回答者数	123		145		225		160		76		21		750			

付いていると良いと思う運転支援機能



全体では…
全ての年代で「衝突被害軽減ブレーキ」が付いている良いと答えた方が一番多く、**72.9%**の方が付いていると良いとの結果となりました。
その他、踏み間違い防止のための「誤発進抑制機能」が**53.2%**、次いで「オートハイビーム機能」が**46.0%**となりました。

「衝突被害軽減ブレーキ」はテレビCM等でも沢山宣伝されており、ユーザーの皆さんもイメージしやすい機能ですね。

Q11: 車の防犯対策について、日頃どのようなことを行っていますか。(複数回答可)

回答項目	年代		29歳以下		30代		40代		50代		60代		70歳以上		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
短時間でも必ずドアロックをする	87	70.7%	85	58.6%	173	76.9%	131	81.9%	65	85.5%	14	66.7%	555	74.0%		
車内に貴重品を置かない	58	47.2%	88	60.7%	161	71.6%	118	73.8%	62	81.6%	18	85.7%	505	67.3%		
防犯カメラが設置された駐車場を選んで利用する	3	2.4%	6	4.1%	10	4.4%	5	3.1%	4	5.3%	1	4.8%	29	3.9%		
防犯カメラまたはドライブレコーダーを取り付ける	35	28.5%	48	33.1%	79	35.1%	49	30.6%	29	38.2%	10	47.6%	250	33.3%		
自宅の駐車場に照明(センサーライト)を取り付ける	7	5.7%	7	4.8%	33	14.7%	25	15.6%	12	15.8%	6	28.6%	90	12.0%		
ステアリング・ペダル・ホイールにロック器具を使用する	3	2.4%	3	2.1%	6	2.7%	4	2.5%	2	2.6%	0	0.0%	18	2.4%		
その他	3	2.4%	4	2.8%	1	0.4%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	9	1.2%		
年代別回答者数	123		145		225		160		76		21		750			



全体では…
「必ずドアロック」が**74.0%**で最も高く、次いで「車内に貴重品を置かない」が**67.3%**でした。

また、近年社会問題化している【あおり運転】等の対策もあり、「防犯カメラまたはドライブレコーダーを取り付ける」が**33.3%**と昨年よりも増加しました。

自動車盗難は年々減少していますが、その手口は巧妙化されています。
自己防衛をしっかり行い、未然に防げるように対策を行うことが大切です。

過去10年で、平成25年の21,529台が最多でしたが、盗難防止対策が功を奏し、減少傾向が続いています。
令和3年は5,182件でしたが、1日に換算すれば、約14台の自動車が盗難にあっている計算となります。
減少しているからと油断は禁物です。



盗難

ユーザーの皆様からお寄せいただいたご意見・ご要望

アンケートの自由記入欄にお寄せいただいたご意見・ご要望を掲載致します。
(※内容が重複及び類似するご意見・ご要望は、集約して掲載します。)

Q12-1 車の販売活動について

・必要時は出向くので、家に訪問とか電話を止めて欲しい。メール、LINE を使って欲しい。
・新型車の案内を必ずしてくれる。
・対応が速いから安心。
・手厚く対応してもらっている。
・丁寧な説明は助かる。価格が上がってきているところに苦しさを感じる。
・時期に案内があり、助かっている。
・親切なスタッフさんばかりなので、安心してお店へ行ける。
・車を買った店でその車を売却し、そのお店で新しい車を買う場合に、割引等があれば嬉しい。
・色々なアドバイスをしていただける。
・もっと接客を心がけてほしい。
・担当者さんが丁寧で親身なアドバイスをしてくれているので助かっている。
・活気溢れていて良いと思う。
・要望をきちんと聞いて対応していただいている。
・新車発売情報が欲しい。
・自宅からも近く、店舗従業員も知り合いなので頼りになる。
・細目な情報をもっと知りたい。
・今乗っている自動車メーカーに関しては新車が出るたびに必ずテレビ CM が放送されるので、気になる物があったらカタログ等をもらうようにしている。
・少しくどい時もある。
・他店にはないサービスがありとても良い。
・車がすぐに間に合うようにしてほしい。
・転勤して伊那谷から離れてしまったが、いまだに「点検時期ですよ」とか「セールですよ」というハガキが届く。丁寧な対応をしてくれていると思う。
・よく話し相手になってくれる。
・現在の担当営業マンの方とは長期間お世話になっており、色々と親切に相談に乗って頂き、有り難く思う。販売店内も清潔で対応が良い。
・点検時にオススメされるものが本当に必要なものが分からず、毎回とても困る。
・親近感がある。押し売りしないので良い。
・挨拶もないので、誰が担当なのか分からない。
・良いタイミングで買い換えのアドバイスをしてくれる。
・要望を親身になって聞いてくれている。
・車のメリットはもちろんデメリットも教えてほしい。
・納車が遅い。(半導体不足で仕方がないが)ディーラーは親切で助かっている。
・営業マンは長年の付き合いの為、全幅の信頼を寄せている。購入、車検、点検の案内もまめにくる。

・分からない事が分からないので、購入検討時のニーズを会話から引き出して見合った車種を提案してほしい。
・大変だけど、頑張ってください。
・点検の日を教えてください、また車の様子を定期的に聞いてくれるので助かっている。
・EVの充電に良く利用させて頂いている関係で、恐らく他の人よりも来店回数も多く利用させて頂いていると思うが、いつも親切にご対応頂いており大変感謝している。
・整備に必要な提案であれば、受け入れて実施するようにしている。費用対効果の面できちんと提案して下さいありがたい。
・気軽にお店に行けるので非常に助かっている。
・店舗、営業マンによる格差が大きい。信用出来る店舗、営業マンから購入や各種サービスを受けたい。
・海外で販売している車を国内でも販売してほしい。
・とても良くやってもらっている。新車の特徴をよく教えてもらいたい。
・店舗の皆様には日頃より大変良くして頂いている。わからない事が有れば、分かり易く説明して下さり、安心してお任せする事ができる。
・購入したディーラーでないためか、あまり販売活動はされない。
・新車の納期を早くして欲しい。中古車の在庫をもっと増やして色々な車を選べる様にして欲しい。
・電気自動車を検討している。充電インフラを進めてほしい。
・車に対してあまり知識がないので、色々な面で詳しく話を聞けて助かっている。
・疑問に思うことも分かりやすく説明して下さるので、より車を好きになれる。
・コロナ禍ではあるが、イベントや販売店の企画などもう少し活発になっても良いと思う。
・買い替えのタイミングをみて、お得になりそうな情報をもらえるとありがたい。
・直接的に購入した店舗ではないが、いつも親切にしてくださりありがたいと思っている。
・非常に顧客のことを考えてくれて、迅速に対応していただいている。
・店舗にカタログがない。
・営業担当者が異動で連絡がなく、点検時の「ついでに報告」感を強く感じる。
・昔は雑誌を見て探し、店頭に行っていたが、今は自宅でインターネットから調べられるようになったので便利になった。
・いつかインターネットで購入することになるかもしれない。
・営業はほったらかしなので静かでよい。自分が必要な時は電話連絡でよい。
・新車や販売イベントについて頻繁に案内してくれて助かっている。
・点検の連絡やリコールの情報などもっと入れてほしい。
・安全装置の名称を統一してほしい。
・定期的に新車の情報を教えてくれている。
・細目に連絡をくれて助かる。
・点検などでお店に行くと、新しい車の情報を教えてくれる。
・アフターサービスがきちんとされているので、助かっている。
・定期的に案内があるので、助かっている。
・特に販売活動には興味ありません。
・EV車をもっと普及させる補助金がわかりづらい。金額もあいまいでわからない。

Q12-2 自動車の点検整備について

・必要最低限でいいと思っているが、あれこれ勧められるので、判断が出来ません。
・必要。特に輸入車は定期的なメンテをすれば長く乗れる。
・推奨するものは良く教えてほしい。
・もう少し点検時期が少ないと助かる。
・半年に一回やっているのも良いと思う。
・分からない事が多いので、案内してもらえて助かっている。
・ある程度は知識を付けて自分でできるようになるべきだと思う。
・もっと安いと点検に出しやすい。
・車に詳しくないので親身になって提案してくれる。提案も強引ではなく、非常に親切である。
・アプリの通知が定期的に送られるため、便利だと思う。
・本当に必要な点検なのか、見極める必要がある。
・ディーラーにてメンテナンスパックに加入しており、その案内通りに点検も出している。
・もっと簡略化しても良いと思う。
・点検作業に立ち会ってみたい。
・年々質が悪くなるし値段が上がっている。気が効かない整備士ばかりになってきている。
・電気自動車については、点検期間を長くして欲しい。
・必要最低限の点検を希望。一度の出費を極力減らしたい。
・点検が必要であることは分かるが、この頻度でする必要があるのか、よく分からない。
・あまり距離を走らないので、安全に走ることが出来る程度に整備してほしい。
・不安なく乗れるように定期点検を受けるように心掛けたい。
・走行距離に合った予防整備の案内が欲しい。
・助かっている。もう少し丁寧にやって貰えたら嬉しい。
・自動車ユーザーには点検の重要性を知ってもらった方がいい。
・純正品が高価。交換部品の相談ができると良い。
・点検の予約が取りにくい。
・必要な整備やおすすめ部品交換など説明をしてほしい。交換しないと故障につながるとか、今やらなくても良いが次回はやったほうが良いとか等。
・アフターサービスは重要なので、質の向上に努めて欲しい。
・点検完了後、ディーラーの販売員や整備員が点検結果を説明して下さり、助かります。
・制御システムが高度になった分、表現が複雑になって分かりにくい。ディーラーに出さないと原因が分からない。また緊急を要する事象かどうか咄嗟に判断できない。
・前回問題無かったものが指摘されるのは何故か疑問に思う。単純に見落としていたのか法律が変わったのか説明がほしい。
・新車納車の際、タイヤとエアバルブの位置のズレが気になる。新車なので、そこまで気を使ってほしい。※タイヤ販売店ではやっている。
・店頭で販売されているバッテリーなど市販品と比べて高すぎる。
・ユーザーの言葉に耳を傾けてほしい。場合によっては試乗するなどして確認して欲しい。
・必須の点検は任せているが、それ以外に必要なことがあれば相談して点検している。
・法定点検は義務化した方が良い。

Q12-3 自動車に係わる税金について

・自動車に係わることに使用目的を限定して欲しい。ガソリンは税金にまで消費税をかけるのは止めてもらいたい。
・長く乗れば安くしてほしい。
・税金の種類と金額が多すぎ。昔と違い、贅沢品ではなくなり、長野県では生活必需品なので、消費税を上げてもいいから税制を見直してほしい。
・重さや排気量で税金が高くなるのはあり得ない。一律にしてほしい。乗りたい車は税金が高いからという理由で乗れないのは車離れが進む原因になる。
・障がい者の免税があるので、とても助かっている。
・ガソリン税をなんとかしてほしい。地方は特に輸送費などで高くなるので。
・生活必需品の地域は無しでいいと思う。
・13年超え重課税の廃止を希望。
・排気量で税金が変わるのがおかしいと思う。大排気量でも安くしてほしい。
・軽減できるのであれば、軽減してほしい。
・複数台所有している場合は減税して欲しい。
・頻繁に乗らないので負担が高い。
・特定財源から変更したなら減額を行うべきだ。
・あれこれ税金がかかるのではなく、1つにまとめて欲しい。
・税金は払うものなので仕方がない。
・もっとわかりやすくしてほしい。
・地域にあった税金にしてほしい。
・有効に使われているのなら致し方ない。ガソリンの2重課税はやめてほしい。
・軽自動車と普通車の税の差があるので、徴収に必要な税をなくせば是正できると思う。
・種類が多すぎる車離れの要因のひとつ。
・法律で決まっているからしょうがない。
・乗る頻度によって税率を変えて欲しい。安くして欲しい。
・環境に優しい車に関しては、もっと減税して普及に努めて行ってほしい。
・たくさん税金を払っているのに、払った税金がどう使われるのかももっとわかるようにしてほしい。
・有効な使い方をされているか疑問。
・税金が多すぎる。走行距離課税は大反対。
・自動車税は金額が大きいので、年一回の支払いだとしても負担は大きいと思う。
・分かりやすく値段をまとめて伝えて欲しい。
・自賠償保険からの借入は許しがたい暴挙。余剰金は保険料の値下げで還元するのが筋。そんなに予算が必要なら、政党助成金を削減若しくは廃止すべき。
・「こればかりはしょうがないな」と思っている。
・古い物を大事にする事も大切だと思う。自動車税などの重加算はおかしい。

Q12-4 交通安全の対策・取組みについて

・交通違反とならない運転を心掛けている。
・一時停止は必ず止まる。信号は黄色の時は渡らない。法定速度を守る。
・「かもしれない運転」を心がけている。
・常識の範囲で注意をしている。
・横断歩道の手前は気をつけている。
・スピードをあまり出さないようにしている。
・自転車が危ないので注意してほしい。特に高齢者に対して。
・自治体一丸で取組み、更に交通安全の意識を高める取組みをしてほしい。
・一時停止の停止線の所に、毎回警察官 1 人必ず立っている位の何かがほしい。いつも、適当な運転している他人にイライラばかりさせられている。
・危険があることを知らせる仕組みが欲しい。例えば横断歩道付近に人がいれば道路上やその周辺、または車のメーターに表示が出るような仕組み。
・警察の怠慢には呆れている。
・標識をもっとわかりやすい位置にしてほしい。
・長野市は特に道路の整備をしてほしい。草刈りや、舗装等。
・自分の気持ちが大切。安全運転第一。
・なるべく右折進入しない。
・目視をしっかりしている。
・年齢も、重ねてきたので、安全を心掛けている。
・標識をしっかり見て走行している。
・「だろう」運転にならないよう、「かもしれない」運転を心掛けています。時間にゆとりを持って運転したいと思っている。慌てるのが危険に繋がると思うので。
・歩道は気を付けている。
・夜は特に視野が狭まるので気をつけて運転している。
・継続的な啓蒙をしてほしい。
・横断歩道の回りは良く見ている。
・横断歩道の手前や天候悪い場合注意している。
・居眠り運転に注意をする。
・ながら運転、脇見運転、スピードなど、ルールは絶対に守る。
・警察の不必要な取り締まりが残念に思う。ドライブレコーダーで、警察の動向も含めて、自分で自分を守る必要があると感じる。
・モラルの低いバイク乗が多い。
・交通違反の取締まりは危険度が高い分野から行って安全確保に貢献してほしい。待ち伏せするのではなく、危険度の高い場所で抑制する活動するなど。
・Nシステムの情報を有効活用して欲しい、具体的には車検切れの車をすべて洗い出して警察がその車の所有者の個人情報をたどって検挙できるようにしてもらいたい。
・割り込みされるほどの車間距離をキープする。
・保険会社の安全運転診断などで、自分の運転を振り返って日々注意して運転している。
・高齢ドライバーのための、ルールの整備や、機能の開発を。

・左右折する際、減速する前にウインカーを出すことで、追突されないようにしている。
・信号が変わったら、止まるように心がけている。
・今までのままで良いし、更に良くなるといい。
・警察の取締りは、隠れていて違反をしてから検挙するのではなく、違反をする前に注意した方がよいのでは？例えば右折禁止、右折すると危険だから右折禁止になっているはず。右折しようとする車がいれば、その時点で注意した方が事故にならないのでは？
・コロナで騒いで最近交通のニュースは見ない。しかし、幼児の車の中の置き去りなど痛ましい事件もあり、切り口を変えての啓発も必要ではないだろうか。
・健常者が身障者マークを利用して専用駐車場に停めているケースがあり、身障者カード読み込み可能なシステムを導入すべき。また、非常識な運転が増加しているので、その対応や厳罰を課す法律の制定が急務。
・免許書換え時だけではなく継続的な啓蒙をしてほしい。自分自身も含めて。
・横断歩道に歩行者がいる時は、必ず止まるようにしている。最近、特に長野県は全国で一位と言われているので気にしている。
・継続的な啓蒙をして欲しい。
・なんでもないような交差点でも事故の多い箇所があり、何か対策をしてほしい。
・人通りが多い場所は特に気をつけている。
・歩行者や自転車の予期せぬ動きに注意をしている。
・気持ちを落ち着かせて運転するようにしている。
・無理な運転が無くなるようにしてほしい。
・煽り運転などをより厳罰化してほしい。
・自転車、歩行者、狭い道は、注意して走行をする。早い車には道を譲る。車間距離は充分とる。
・ドライビングスクールを各メーカーで実施推奨してほしい。
・なるべく速度を周りに合わせている。
・自動運転に期待。
・道路整備を促進して欲しい。例えば信号がない交差点や通学路のガードレールなど。
・安全指導へ参加している。
・ブレーキを踏んでからウインカーを点灯させるドライバーが多すぎて腹立たしい。急ブレーキと同じであることを積極的に啓蒙活動してほしい。
・歳と共に反応が遅くなってきているので注意して運転している。
・横断歩道の手前では注意して走行している。
・安協に所属しているので、啓蒙活動を継続して実施している。
・75才以上が運転する車はサポカー限定にする。
・飲酒運転防止、よそ見防止対策に取り組んでほしい。
・歩行者だけには気をつけている。死角になっている場所や、細い道から人が飛び出てこないか気をつけて見ている。
・携帯電話の使用しながらの運転を厳罰化してほしい。
・購入後でも付与できる安全機能は積極的に取り入れているが(リアカメラ、ドライブレコーダー等)、他にも後からサポート機能・アシスト機能を付けられるようなものがあれば取り入れたい。
・学校周辺に住んでいるため、学生にも交通安全の意識が上がるような取り組みをしてほしい。
・現在、SNS で色々な事故情報が分かるので注意している。

・日本も、自転車専用のレーンを作してほしい。
・車外放出の事故を考えると、ジュニアシートやブースターシートの必要性を啓発してもらいたい。
・啓蒙活動よりも効果的な道路標識、道路の整備の方が効果的と思う。
・取締りが見せしめにならないように、本当に危険な運転をしている車を取締まるシステムが欲しい。
・目が悪いので運転時は必ず眼鏡をかけている。
・高齢者の横断歩道以外の横断。車が動いているのに渡り始める高齢者を注意してほしい。
・カーブミラーを増やし、歩道を広くしてほしい。車道を走る自転車が怖いので、安全に走れる対策をしてほしい。
・車間距離をあげ、止まるところは止まり、自分から譲れば事故は減る。
・通勤時に学生がよく通る道路には気をつけて走行している。
・先の見えないカーブや渋滞時は速度に注意しながら走行している。
・走るシーンによって適切な運転をなるべく心がけている。
・しっかり標識を見ているつもりでも、気づかないことが多くなってきたので、もっと気をつけたい。
・三角マークには注意して走行している。
・長時間運転は、こまめに休んで事故にならないよう気をつけている。
・自転車に乗っている人たちも交通ルールを意識してもらいたい。
・事故が起きてからではなく、危険な行為や状況について、取り締まりや改善を進めてほしい。
・早めのライト点灯を！
・歩道の整備をしっかりとしてほしい。カーブミラーが凍っていて見えない。
・自転車は、逆走や縦横無尽な運転をするので気を付けている。警察の取り締まりを求む。社会人に限らず学生も取り締まるべき。
・車列の切れ目や大型車の近くにいる時は、見えない所からの人や車の飛び出しに注意をしている。専用レーンや専用信号の無い右折を出来るだけしないルートを選ぶ。
・信号機のない横断歩道を通りたくても滅多に止まってくれない。歩行者優先を認識させてほしい。
・一時不停止、信号無視、誤った右左折等、事故に繋がる違反は今以上に取り締まるべき。飲酒、酒気帯び、携帯端末等操作は言うに及ばず。安全運転義務違反でも、悪質なものは取り締まった方がよい。

Q12-5 自動車と環境問題について

・最近燃費のいい運転を心掛けている。
・EV、水素ともにインフラ設備を整えて使いやすくしてほしい。
・電気自動車をもっと買いやすくして普及させてほしい
・どのように運転すれば、エコに繋がるのか知りたい。あまり考えたことがなかった。
・アクセルをあまり踏まないようにしている。
・電気自動車を推進していくなら、もっと国民の声を聞いてほしい。日本に向き不向きな面もある中、先走りして、付いていけないと思う。
・電動化が必要なら、導入しやすくしてほしい。 ※家庭用ソーラーや蓄電池システムとの連携手段が整備されてない。 ※車種が限られている、好きなタイプ、必要な条件を満たす車種が無い。 ※高価過ぎる。
・急発進はしない。
・費用対効果のある環境対策をしてほしい。
・アイドリングストップは多用している。
・エンジンをかけっ放しにしない。
・電気自動車は本当にエコなのか疑問である。
・なるべくムラのない運転を意識している。
・ガソリン代も高騰しているので自分でもエコドライブは心がけている。
・世の中の製品全てにおいてだが、作るのに一生懸命で、買うのは楽だが、処分に対しては何かと不便を感じる。
・空吹かしや急発進を避けている。
・国の環境整備を進めてほしい。
・古い車を乗り続けた方が環境対策になるのでは？
・分からないことが多いので、車を作る人、会社、国などで考えていただきたいです。
・日本で電動化が進みそうですが、実際には、原子力稼働が必要になるなど、将来的には如何なのだろうか？
・車とエコは切り離せません。しっかり取り組んでほしい。
・電気自動車が本当にエコなのか、発電所が壊れたらどうするのだろうかと思う。
・よく分からない。
・地球温暖化が進んでいる一つの理由として車のせいでもあると思うので、環境に配慮してほしい。
・電気自動車への変化の波は変えられないと思うが、現在の設備では厳しい。公共設備として充実してほしい。
・アイドリングなど、エンジンはすぐに切る。エコタイヤをもっと普及してほしい。
・ドライバー側の意識改革をもっと必要な気がする。
・電気自動車も良いが、環境に優しい発電方法を促進してほしい。
・車は必要だが、エコカーは高価。それでもエコカーにしたい。
・カーボンニュートラルをある程度理解するが、環境を考えた車が増えすぎて、車の面白さが減っている。
・アイドリングドライブ機能を活用し、ガソリンの消費を抑えている。

・もっと BEV を普及させるべき充電インフラ、補助金をもっと積極的にして欲しい。
・費用的な面も多分にあるが、物によってはリビルト部品を活用している。
・無駄な規制を撤廃し、メーカー、関連企業が先進的な技術を開発出来るような後押しをするべき。 変な規制でおかしい機能が付いて、結局エコとは名ばかりなことにならない様にするべき。
・環境問題対策はもちろん重要だが、電気自動車の増加に対する充電ステーションの少なさ、不便さといった問題がある。推進したい事があるなら、それに伴う問題点も同じように改善していかなければ定着は難しいように感じる。リビルト品などのリサイクル部品が増えると、古い車に乗る方や素材もエコだと思うので個人的には賛成。
・燃費のいい車になれば、環境と家計に配慮していると思う。
・昔ほどディーゼル車の排気ガスを気にしなくなった。黒煙がひどい車に乗っている人は環境を意識してほしい。
・長野は公共交通機関が発達しておらず、車社会になっている。東京のように公共交通機関があればマイカー通勤が少なくなり、CO2 の削減に貢献ができる。
・動力形式による CO2 排出量をカタログに表示してほしい。
・二酸化炭素排出量に関して、まだ身近なものとして考えられない。
・営業さんに言われたふんわりアクセルを心掛けています。
・エンジン付けっぱなしでの駐車はなるべくしないようにしているが、冬季はしょうがないと思っている。



一般社団法人

長野県自動車販売店協会

長野県長野市大字五分一沖679-10

TEL 026-226-5416 FAX 026-226-5194

ホームページ <http://www.nada.or.jp>



詳しくはこちらから